



悪質商法・詐欺に気を付けて!

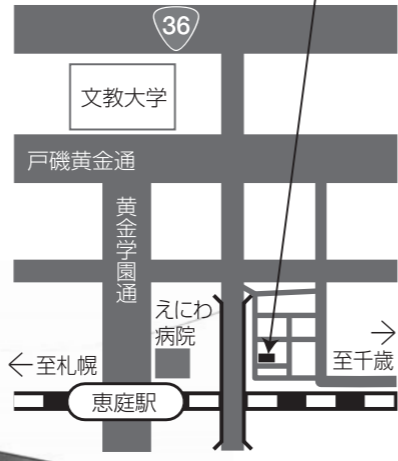
最近、お年寄りの独り暮らし世帯が多くなっていますが、お年寄りは、お金、健康、孤独の3つの大きな不安を持っていると言われています。悪質業者は、これらの不安をあおり、親切にして信用させ、財産を狙っています。

ケーションをとっていると周りの人が気づき被害を未然に防止することも可能です。

お年寄りを独りにしない地域の取り組みが期待されます。

恵庭消費者協会
恵庭市消費生活相談室長
須藤 進さん

お気軽にご相談ください!
相談室 〒061-1409
恵庭市黄金南1丁目3-10
電話 32-8191
開所時間 平日10時~17時
(受付16時45分まで)



恵庭市内でも、高級布団の押し売り、必要のない住宅工事、インターネットを使用しない高齢世帯への光回線契約など訪問販売や電話勧誘によるお年寄りの被害やトラブルが発生しています。

悪質業者は騙しのプロです。一人で対応すると簡単に騙されてしまいますが、誰かと相談することで騙されていることに気付くことができます。

日頃からご近所とコミュニ

市町連活動記録 (2015.1.1~12.31)

- 2.17 町内会連合会定期総会・表彰式
- 5.13 市理事者と町内会長等との懇談会
- 5.26 全道町内会連合会活動研究大会(札幌市)
- 6.17 町内会長等親睦交流会
- 7. 7 帯広市町内会連合会視察受入
- 8. 5 町内会活動実践者研修会(札幌市)
- 9. 7 市理事者と市町連役員との懇談会
- 9.10~11 自治活動視察研修(函館市)
- 10.15 稚内市町内会連絡協議会視察受入
- 10.15~16 道央ブロック町内会活動研究大会(滝川市)
- 12.8 町内会活動研究会・市理事者との懇談会

役員会等の開催状況

- 四役会(7回)、役員会(6回)
- 事業部会(2回)、広報部会(2回)

編集後記

- ◆平成 27 年も残す所わずかとなりましたが、来年もより良い街づくりの為に皆さん頑張りましょう(市)
- ◆親心につけこむ詐欺も後を絶たない。自分は大丈夫、でもまずは合言葉で本人確認を!(関)
- ◆「つなぐ」は、人と人、町と町を結ぶ大切な情報誌、大きく育てて欲しいものです。(鶴)
- ◆編さん作業中、他町内の事例を知り、それを使わせていただき感謝の思いです。(河)
- ◆市民一人一人の活動が大河の一滴のごとく、それが恵庭市発展の支えとなっている事を知りました。(木)
- ◆この年齢になっての初めての自治会活動、生涯学習の面で、非常に勉強になりました。(村)

募集!

紙面で紹介したいユニークな活動をしていらっしゃる方が、がんばる人の情報をお寄せください。

発行
恵庭市町内会連合会
広報部会
事務局
市民活動推進課
恵庭市緑町2丁目2-2
恵庭市交流プラザまなび館内
電話 0123-34-7000



恵庭市
町内会連合会報
2015.12
vol.06



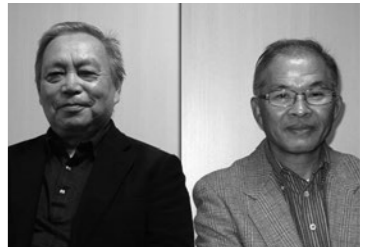
「防災についてはまったくの素人でした」と話すのは北柏木町内会の防災部長、梶浦さん。約3年前に市内から北柏木に転居し、26年からは町内会の防災部長となった。当初はインターネットで必要な情報を収集し、防災マスターの研修のため旭川まで出向いたこともあった。「まわりの人たちにたくさん教えてもらった。成長させてくれたんです」仲間の存在が大きかった。

北柏木町内会では以前から防災活動に取り組んでいたが、平成26年に防災部を立ち上げ、平成27年5月には自主防災会が発足。災害時にも迅速に対応できる組織づくりに努めた。6月に行った町内会防災訓練では、6回目にして初めて中学生を防災会の構成員として取り込んだ。柏陽中学校の土曜授業に役員が顔を出し、中学生と一緒に植樹帯の花植えなどを行うことで、日常生活においても、中学生が声をかけてくれ

若い力を原動力に 防災に強い町内会へ

るようになり、その結果、中学生を町内会活動に取り込むことにつながった。石本優町内会長は、「高齢者も若い人から刺激を受け、元気をもらおう。若い力はとても大事」という。防災訓練の中では「防災クイズ」など小・中学生にも防災意識を持ってもらえるような工夫をした。

「指をくわえて見ているだけではだめ。まずは行動を起こすことが大事」。今後は近隣の町内会とも協力し、HUG(避難所運営模擬体験)などを展開していきたいと、すでに次のビジョンを描いている梶浦さん。今日も安心して暮らせる町内会を目指し、奮闘している。



北柏木町内会 会長 石本 優さん
防災部長 梶浦 孔明さん

RELAY INTERVIEW

リレーインタビュー

郷土芸能 恵庭岳太鼓を次世代へ

体の中まで響く、迫力ある音色が人々を圧倒する。恵庭のイベントに欠かせないのが郷土芸能「恵庭岳太鼓」だ。恵庭に住む人なら一度は聴いたことがあるのではないだろうか。この恵庭岳太鼓を次世代へと継承する恵庭岳太鼓保存会は今年で創立30周年を迎えた。祭りや式典、小学校の運動会など依頼があればジャンルを問わず出向いて演奏を披露している。平成26年は出演機会が過去最多の33回。保存会の会長、村本隆二さんは、「イベントに呼んでくれるのは本当に嬉しい。市民に活動が認められたという実感がある」という。

演奏をするのは保存会の技能部に所属している29名。迫力ある演奏ができるのは、週3回行われる練習の積み重ねがあるからだ。指導するのは自衛隊員の有志。自衛隊のある恵庭のまちだからこそ、太鼓の技術を絶やす事無く

代々へ引き継ぐことができるのだという。演奏者の4割近くは子どもで、「子ども達の成長はすごい」と村本さん。しかし、立派な演奏者へと成長した子ども達も学校を卒業すると恵庭のまちを離れていくことが多く、恵庭岳太鼓を継承するためには、後継者の育成が必要となる。村本さんは「恵庭には大学や専門学校もある。太鼓に興味があればぜひ一度たたきに来て欲しい」と、次世代に伝える努力を重ねていくという。

恵庭が誇る郷土芸能。これからも多くの人を魅了し、発展し続けてほしい。

恵庭岳太鼓保存会 会長
村本 隆二さん



報告

道央ブロック町内会活動研究大会



北海道町内会連合会（長谷川敬二会長）主催の道央ブロック町内会活動研究大会は、10月15～16日滝川市ホテルスエヒロで開かれた。

今年は「地域の絆づくりと安心・安全なまちづくり」をテーマに、道央地域市町村の町内会関係者140人が集い、熱い研修を繰り広げた。

基調説明に引き続き、医療法人社団豊生会本部地域包括ケア推進部主幹 長井卷子氏が「住民の支え合い、安心して暮らせる地域づくり」と題し、高齢者・認知症の人を取り巻く現状と対策、今後の介護予防の姿、新地域支援について講演。自らの家族経験から、これからの介護予防の

姿と充実した高齢者の社会参加など、説得ある内容に受講者を感動させた。

その後は、テーマ毎に分かれ、「町内会の福祉活動」「町内会の防災活動を考える」「町内会の育成」の分科会、それぞれが地域の実態と活動を活発に発表した。



おもしろ 恵庭学

第6回

弾丸道路—島松沢に今も残る
往時の路盤

文責：恵庭昭和史研究会 林 嘉男

札幌千歳間を走る道路（国道36号線）を弾丸道路と呼んでいた。この呼び名の由来は弾丸を積んで走ったとか、弾丸のような速さで完成された道路だからと言われたが、どちらもあたっていて否定できない。しかし、札幌、千歳間34、5キロを1年間で完成させたことは、日本の道路史の中では特筆されることである。島松沢は恵庭市内で3本の道路が唯一見られる場所であるが、旧島松駅駅通から札幌に向かう上り坂は往時の路盤が残っていて、産業遺産の一つに数えられている。

